

## 自転車の利用に関する調査結果について

※数値は速報値のため、今後、変動する可能性があります  
出典：平成30年度県政世論調査

### 【調査の概要】

対象者：県内に居住する満18歳以上の男女2,000人（無作為抽出）

調査期間：平成30年8月下旬～9月中旬

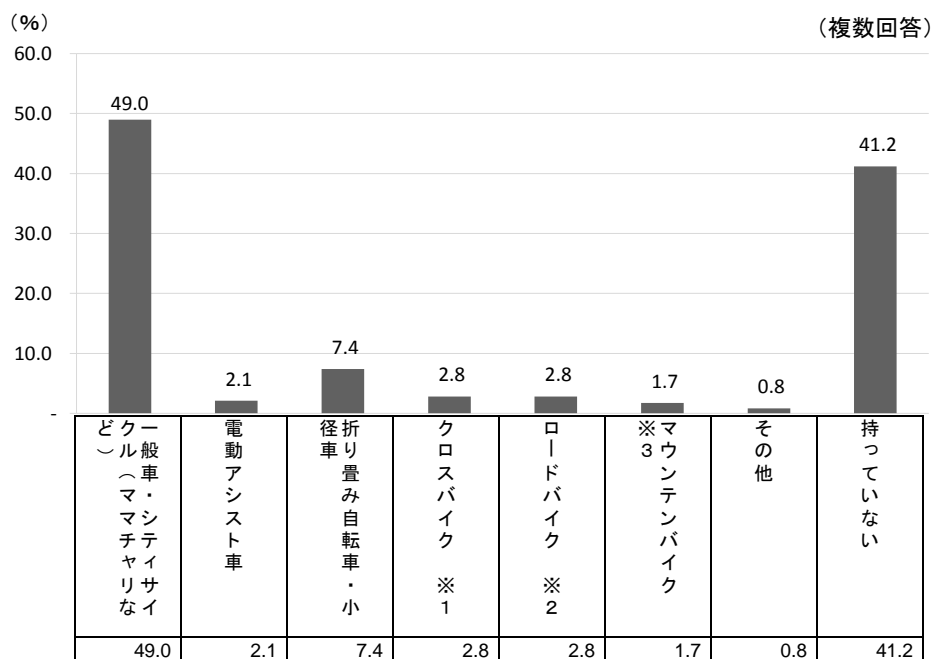
調査方法：調査員による留置調査

※括弧書きによるコメントはクロス集計結果による説明

問3 あなたは、どんな自転車をお持ちですか。次の中から当てはまるものをすべて選んでください。

1. 一般車・シティサイクル(ママチャリなど)
2. 電動アシスト車
3. 折り畳み自転車・小径車
4. クロスバイク ※1
5. ロードバイク ※2
6. マウンテンバイク ※3
7. その他
8. 持っていない

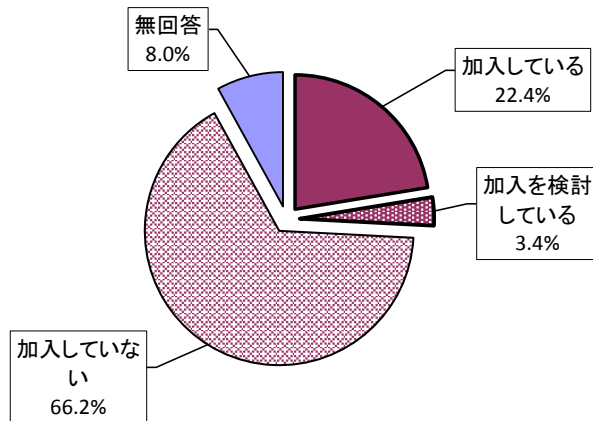
※1 クロスバイク……ロードバイクとマウンテンバイクを組み合わせた自転車であり、クッション性を意識したタイヤとなっている。  
 ※2 ロードバイク……主に舗装道路を早く走るための自転車であり、ドロップハンドルで細めのタイヤとなっている。  
 ※3 マウンテンバイク……野山や林道を走るのに適した自転車であり、頑丈なフレームで太めのタイヤとなっている。



○自転車を保有している人の割合は約6割であり、その多くが一般車・シティサイクル(ママチャリなど)を保有している。

問4 あなたは、自転車を利用した際に発生した交通事故などによる損害を補償するための保険又は共済に加入していますか。

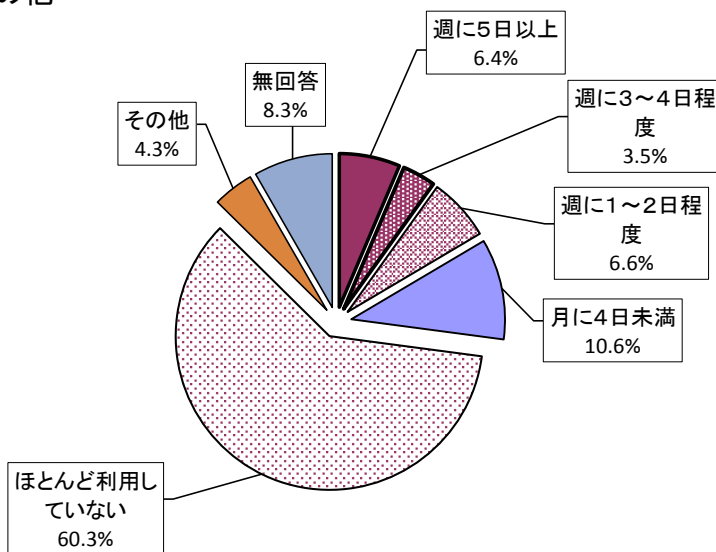
1. 加入している
2. 加入を検討している
3. 加入していない



○保険又は共済の加入率は約22%となっている。

問5 あなたは普段どのくらいの頻度で自転車を利用していますか。次の中から当てはまるものを1つ選んでください。

1. 週に5日以上
2. 週に3～4日程度
3. 週に1～2日程度
4. 月に4日未満
5. ほとんど利用していない
6. その他

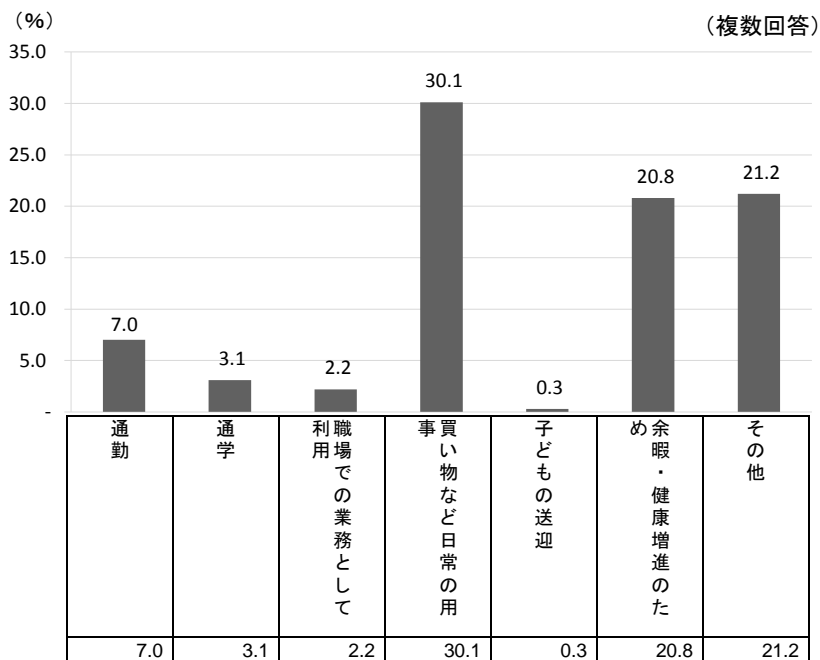


○「週に5日以上」、「週に3～4日程度」と回答した人は全体の約1割であり、「ほとんど利用していない」という回答が全体の約6割を占めている。

〔 ○自転車を保有している人でも、約5割の人が「ほとんど利用していない」と回答しており、自転車を日常的に利用している人は少数にとどまっている。 〕

問6 あなたは、どのような目的で自転車を利用していますか。次の中から当てはまるものをすべて選んでください。

1. 通勤
2. 通学
3. 職場での業務として利用
4. 買い物など日常の用事
5. 子どもの送迎
6. 余暇・健康増進のため
7. その他

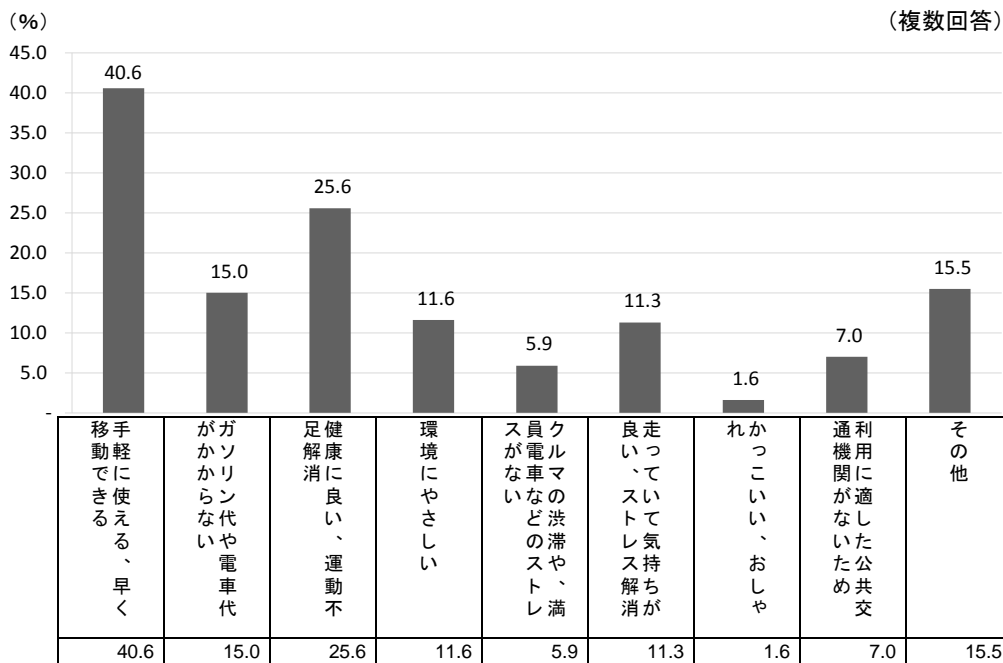


○「買い物など日常の用事」、「余暇・健康増進のため」が高い割合を占めている。  
 ○「その他」として、「農作業・田んぼの見回り」、「駐車場がないところに行くとき」、「利用していない」などの回答があった。

〔○自転車を週に3日以上利用する人では、「通勤」や「通学」と回答した人の割合が高い。〕

問7 あなたは、どのような理由で自転車を利用していますか。次の中から当てはまるものをすべて選んでください。

1. 手軽に使える、早く移動できる
2. ガソリン代や電車代がかからない
3. 健康に良い、運動不足解消
4. 環境にやさしい
5. クルマの渋滞や、満員電車などのストレスがない
6. 走っていて気持ちが良い、ストレス解消
7. カッコいい、おしゃれ
8. 利用に適した公共交通機関がないため
9. その他

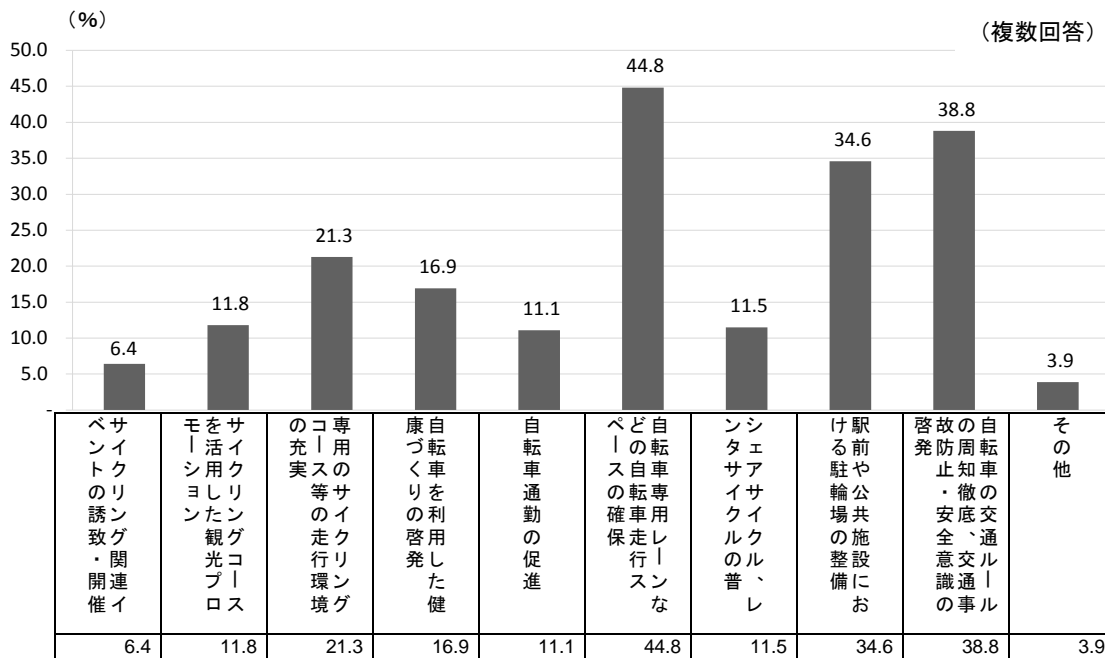


○「手軽に使える、早く移動できる」、「健康に良い、運動不足解消」などが高い割合を占めている。  
 ○「その他」として、「車を持っていない」、「免許がない」、「利用施設に駐車場がない」などの回答があった。

○自転車を週に3日以上利用する人の回答も「手軽に使える、早く移動できる」、「健康に良い、運動不足解消」などが高い割合を占めている。

問8 今後、自転車の活用を推進するために必要な行政の取組みとして、当てはまると思うものを次の中から3つまで選んでください。

1. サイクリング関連イベントの誘致・開催
2. サイクリングコースを活用した観光プロモーション
3. 専用のサイクリングコース等の走行環境の充実
4. 自転車を利用した健康づくりの啓発
5. 自転車通勤の促進
6. 自転車専用レーンなどの自転車走行スペースの確保
7. シェアサイクル、レンタサイクルの普及
8. 駅前や公共施設における駐輪場の整備
9. 自転車の交通ルールの周知徹底、交通事故防止・安全意識の啓発
10. その他



○「自転車走行スペースの確保」、「自転車の交通ルールの周知徹底」、「駅前や公共施設における駐輪場の整備」が高い割合を占めたほか、これらに次いで「専用のサイクリングコース等の走行環境の充実」や「自転車を利用した健康づくりの啓発」を求める回答もあった。

○「その他」として、「列車等への持ち込みを可能にする」、「積雪時の歩道の除雪」などの回答があった。

○「自転車走行スペースの確保」と「専用のサイクリングコース等の走行環境の充実」の合計が約6割以上となることから、自転車で走行するためのハード整備を求める回答が大きな割合を占めている。

○自転車を週に3日以上利用する人の回答も、「自転車走行スペースの確保」、「自転車の交通ルールの周知徹底」、「駅前や公共施設における駐輪場の整備」などが高い割合を占めている。